

こんなはずじゃなかった。
それでも、諦めたくない。

出品
決定

フィラデルフィア・アジアン・アメリカン映画祭(ドキュメンタリー長編部門)
レインダンス映画祭(ドキュメンタリー長編部門)
バンクーバー・アジアン映画祭(ドキュメンタリー長編部門)
ハワイ国際映画祭(ドキュメンタリー長編部門)

わたしは分断を 許さない

監督・撮影・編集・
ナレーション：堀潤

香港、ガサ、シリア、福島、朝鮮半島に
ミャンマーの最新映像を加え、
ジャーナリスト堀潤が問う「分断」された世界。
2021年、今こそ私たちはこれを見なければならぬ。

プロデューサー：馬奈木巖太郎 | 脚本：きたむらけんじ | 音楽：青木健 | 編集：高橋昌志
コピー・タイトル原案：阿部広太郎 | スチール提供：Orangeparfait
取材協力：JVC・日本国際ボランティアセンター、KnK・国境なき子どもたち
配給・宣伝：太秦

©8bitNews 2020 | 日本 | カラー | DCP | 5.1ch | 105分

G
122279

コロナ禍を乗り越えて
リモーヴァージョンによる
[再] [再] 上映決定！

www.bundan2020.com

ジャーナリスト堀潤が出会い、

寄り添い、伝えた、人々の「生の声」
5年の歳月をかけて追った
「分断された世界」とは――

STORY

堀潤は「眞実を見極めるためには、主語を小さくする必要がある」という。香港では“人権、自由、民主”を守る為に立ち上がった若者と出会い、ヨルダンの難民キャンプではシリアで拘束された父との再会を願い、いつか医者になり多くの命を救いたいと話す少女に出会う。美容師の深谷さんは福島の原発事故により、いまだに自宅へ戻ることが許されず、震災以来ハサミを握っていない。久保田さんは、震災後に息子と共に水戸から沖縄へ移住し、普天間から辺野古への新基地移設に対して反対運動を行う人々と出会った。彼女は「声をあげること」を通して、未来の為に“わたし”ができるのになにかを見つけていく。

国内外の様々な社会課題の現場で深まる「分断」。ジャーナリスト堀潤が、分断の真相に身を切る想いで迫っていく。



2013年、初の監督作品であるドキュメンタリー映画『変身 – Metamorphosis』で、11年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故の歪んだ実態と、その現実に果敢に立ち向かう人々の姿を克明に描いた堀 潤。より機動的で自由な報道活動の場を求めて、13年4月にNHKを退局し、フリージャーナリストとして独立した。フリー転身後も現場の人々の「生の声」を少しでも多くの人々に伝え、届けるため、日帰りの海外取材も厭わず、日々精力的に活動を続けている。その活動の場は、テレビ、雑誌、ラジオなどにとどまらず、自らが立ち上げた市民投稿型ニュースサイト「8bitNews」や、インターネットテレビ、SNSなど多岐にわたる。

そんな生粋の報道人、堀潤が、あらゆる現場で共通に感じる“あること”。それは、“分断”的深まりである。堀が真摯に追いかけ続けてきた、東京電力福島第一原子力発電所事故後の現場をはじめとして、シリア、パレスチナ、朝鮮半島、香港、沖縄など、国内外の様々な社会課題の現場で生まれ、深まっていく“分断”。それはやがて、人々の心に癒しがたい猜疑と恐怖を生み、またたく間に差別や排斥を叫ぶ動きへと加速していく。そしてその結果深い痛みを負った、多くの罪なき人々の悲痛な訴えすら、その分断のために残酷な忘却と冷たい無関心にさらされるのである。なぜ、“分断”が生まれるのか？私たちは“誰”に分断されているのか？そして“誰”が人々に沈黙を強いるのか…？堀潤は語る。「わたしには、どうしても許してはいけないと感じるものがある。それは“分断”だ」と。

東京電力福島第一原子力発電所事故の取材を開始してから約10年の歳月がたった。その間、ジャーナリスト堀潤が、絶えず追いかけ、駆け抜けた世界中の報道の現場。そして、その現場で出会った人々の心に出来る限り寄り添おうと行ってきた、膨大な取材記録。あまたの「分断」の手当てをするべく、ジャーナリスト堀潤が紡ぎだした渾身の映画作品が、本作『わたしは分断を許さない』である。

監督・撮影・編集・堀潤 ナレーション:

プロデューサー:馬奈木巖太郎 | 脚本:きたむらけんじ | 音楽:青木健
配給・宣伝:大秦

©2011-2020 日本



©8bitNews 2020|日本|カラー|DCP|5.1ch|105分



東日本大震災から10年！

4月3日(土)より4月16日(金)まで限定2週間

混乱のミャンマーの映像、7分50秒を加えた
圧巻のニューヴァージョンの上映です。[連日14:30~ 一日一回上映]

掘潤監督の舞台挨拶を予定しています。詳しくは劇場の公式サイトをご覧ください。

★来場者にもれなく特製オリジナルステッカープレゼント!

(イラスト: 売井みい) ※無くなり次第終了



ホーリー・ホーリー・ホーリー

03 3371 0088 pole2.co.jp

都営大江戸線A1出口より徒歩1分

